



2026年 7月28日
第13号

JR 東労組 Yokohama



JR東労組横浜地本

発行人 梶田 優一

編集 情宣 担当

ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



グループ会社と一体となった業務執行体制の深度化について 詳細提案を受ける ②

【提案時の主なやりとり 続き】

鎌倉車両(中原)の JR 本体の体制について

組 合	会 社
鎌倉車両(中原)は「派出」化するのか？	規模としては派出のようなイメージとなる。
10月1日以降、過半数代表者の選出に関わる鎌倉車両(中原)の事業場区分をどのように整理するのか？	現時点では示せない。体制を見て検討していく。
中原における JR 本体の体制で残るものは何か？	構内副長(1 徹) および、検修総括 S 番(1 日勤)となる。
検修総括(S 番)の代務が発生する場合、本区からくるのか？	そのように考えている。
品証や指導の体制はどうなるのか？	中原には配置せず、鎌倉車両(本区)で見る形をとる。
車両故障発生時の対応についての考え方は？	本区からの派遣を考えている。速報や車両故障報告書の作成も本区からの派遣者で対応することを考えている。
用品や資材発注の業務はどうするのか？ トラック便対応や棚卸しはどうするのか？	中原には用品担当は常駐せず、日時が定まっているものは必要の都度、鎌倉車両(本区)から派遣する。 日々の物品払出しは、JETS にて帳票の記入や入力で対応する。
事務担当は配置するのか？	中原には配置せず、本区での対応になる。
脱線復旧作業は行うのか？	中原で体制を組むことは難しいので、本区や周辺区所が対応する考えである。
輸送障害時の駆け付けについてはどうするのか？	中原から出動することは難しいので、周辺の検修区所や派出検査が対応することとなる。
業務用自動車の配置の見直しは行うのか？	現在3台あるが、状況を見て見直しをしていく。
E131 系がモニタリング保全体系に移行した場合、 「運用中の機能確認」はどこが行うのか？	アラートの処理は中原構内でもできると考えている。まだ実施が確定していない。

鎌倉車両(中原)における臨時修繕作業の対応に関して

臨時修繕に関してはすべて委託するのか？	対象車種に関するものは全て委託する考えである。
ガラス交換や冷房吊替など、 <u>大物の修繕対応</u> はどうするのか？	大物の対応も含め、JETS に委託する考えである。
実施日の10月1日までに、対応できるようになるのか？	10月1日まででは難しいが、JETS に教育は行っていく考えだ。
大物の対応についてプロパーが技術技能を有しているのか？	未経験の作業も無いとはいえない。その場合も、本体が技術指導を行い習得してもらうなど、JETS 側も勉強してもらいたい。
発注して、対応できないとなれば JR 本体が行うのか？	
一巡点検、一斉点検についてはどうするのか？	打ち合わせにより発注で対応できるものは委託する。スピードが求められるものなどは、JR 本体が対応する。
Hybari に関する対応はどのようにするのか？	水素充填に関する対応など、必要の都度本区から派遣して対応する。
ATS-P 特性検査に関する対応はどのようにするのか？	今施策に合わせて JETS に委託する考えである。
冷房熱交換器清掃の対応はどのようにするのか？	今施策に合わせて JETS に委託する考えである。
車両改修工事やメーカー工事の対応はどうするのか？	メーカー来所者の安全教育が必要な場合は JR 本体が行う。改修工事の内容に応じて、本区から JR 社員を派遣して対応する。
矢向電留や弁天橋構内での車両調査や修繕の対応はどうするのか？	本区から JR 社員を派遣して対応する。

鎌倉車両(本区)の JR 本体の体制に関して

本施策に伴い、本区側の体制は変化するのか？	中原から品証や指導が来て、技管が厚くなるイメージである。
本区構内で南武線の運転整理や運用管理を行うことはあるのか？	引き続き中原で行っていくことに変わりない。

臨時修繕作業の委託に関して、受託会社の技術技能レベルを見れば、教育のための出向も充分想定されます
これまでの団体交渉と提案内容も踏まえ、職場議論をもとに申し入れを行っていきます！